

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	産業環境部
	17062	創業等支援事業	課名	商工観光課 商工業振興G
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務科目	01:一般会計
	基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化		07:商工費
	施策の方向	04:新たなビジネスの創出		01:商工費
戦略プロジェクト	-	02:商工業振興費		
事業予定期間	H 29 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	三重県市町連携型中小企業金融支援補助金交付要領	

② 目的・概要	対象	市内での創業予定者や創業後間もない事業者
	目的	当地域の創業支援機関と連携しながら、創業しやすい環境を整備し、市内での創業を目指す若者や女性等を積極的に支援することにより、創業希望者を増やし、地域産業の活性化を図るとともに、雇用対策を推進する。
概要		市内での創業予定者や創業後間もない事業者を対象に、専門家を講師とした創業支援セミナーや個別相談会を開催する。また、創業資金融資にかかる保証料及び利子の一部を補給することにより、スタート段階における資金繰りを支援するとともに、創業後においても亀山商工会議所をはじめとした地域の創業支援機関と連携し、継続的な支援を行う。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料補給 ○創業融資にかかる利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料補給 ○創業融資にかかる利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料補給 ○創業融資にかかる利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援事業(創業塾)の開催(全4回)受講者数10人 ○小規模事業者等経営支援事業(専門相談)延べ6社12回 ○創業融資にかかる保証料補給 7件 保証料補給額計512,800円 ○創業融資にかかる利子補給 10件 利子補給額計232,600円 ○空き店舗等活用支援補助金 2件 2,500,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援事業(創業塾)の開催(全4回)受講者数13人 ○小規模事業者等経営支援事業(専門相談)延べ6社12回 ○創業融資にかかる保証料補給 5件 保証料補給額計533,900円 ○創業融資にかかる利子補給 4件 利子補給額計151,200円 ○空き店舗等活用支援補助金 1件 1,000,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援事業(創業塾)の開催(全4回)受講者数11人 ○小規模事業者等経営支援事業(専門相談)延べ6社12回 ○創業融資にかかる保証料補給 6件 保証料補給額計484,800円 ○創業融資にかかる利子補給 3件 利子補給額計52,300円 ○空き店舗等活用支援補助金 2件 2,500,000円 	
事業費	計画額	事業費	5,600千円	5,600千円	5,600千円
		国庫支出金			
		県支出金	400千円	400千円	400千円
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	5,100千円	3,600千円	5,135千円
		国庫支出金			
		県支出金	396千円	210千円	390千円
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費 ①	4,317千円	2,740千円	4,132千円
		国庫支出金			
		県支出金	78千円	116千円	75千円
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費 ②	3,925千円	3,920千円	3,952千円	
	一般職員	3,925千円	3,920千円	3,952千円	
	所要人員	0.50	0.50	0.50	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		8,242千円	6,660千円	8,084千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 創業セミナー受講者数	計画値 20	20	20
		活動	実績値 10	13	11
			単位 人	人	人
	②	名称 創業者数	計画値 4	4	4
		成果	実績値 1	2	2
		創業セミナー受講者のうち市内で創業した事業者数	単位 事業者	事業者	事業者
	③	名称 創業資金融資制度利用者数	計画値 2	2	2
		活動	実績値 10	5	7
		新たに創業資金融資にかかる保証料及び利子補給の対象となった市内創業者数	単位 事業者	事業者	事業者

⑤ 事業の改善	【前回評価の対応方針の概要を記入】	創業支援により創業者は継続的に増えているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、先行き不透明な経済状況から、創業を見合わせるケースもある。今後は、創業セミナーや資金繰りなどの支援に加え、さらに創業に向けて一歩が踏み出せるよう、創業体験ができる取組も併せて進めていき、創業意欲効果の向上につなげる。
	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】	引き続き商工会議所と連携し、積極的に創業にかかる支援体制や相談体制の情報を発信し、創業意欲効果の向上につなげるとともに、創業セミナーの開催や補助制度の活用により、若者・女性の創業支援を積極的に行った。また、創業体験できる取組については、先進地視察も行い、検討した。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 創業セミナーについては、新型コロナウイルス感染症の影響により予定時期には開催できないこともあったが、全4回開催でき、受講者数は11人であった。また、商工会議所に小規模事業者等経営支援事業を委託し、延べ6社12回、専門職員が事業所を訪問し、経営上の課題や事業継承等の専門相談を行った。その他、空き店舗等活用支援補助制度の周知や市内創業者の紹介を含めた冊子『創業支援事業の事例紹介』を作成して配付したり、ホームページに掲載したりしながら情報発信に努めた。また、創業者への資金繰り支援として、融資にかかる保証料及び利子への補給を行った。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 創業セミナーについては、内容の工夫をした結果、受講者11人のうち7人が女性であり、受講者のうち令和3年度における創業件数は1件で、創業セミナー開催時からの受講者による市内での創業は、累計で22件となった。また、空き店舗等活用支援補助金については、2件の申請があり、平成30年度に制度を新設してから4年間で8件となった。さらに、創業資金利子補給制度の申請が3件、保証料補給制度の申請が6件あり、創業者の負担軽減と経営の安定を図ることができた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 さらに創業に向けて一歩が踏み出せるようにするには、創業に必要な経営の知識を得ることと初期投資などリスクを負うことなく起業イメージを持つことである。引き続き、創業セミナーや資金繰りなどの支援に加え、チャレンジできる環境整備について、研究を進めていく必要がある。	次期実施計画への方向性 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 引き続き商工会議所と連携し、積極的に創業にかかる支援体制や相談体制の情報を発信し、創業意欲効果の向上に繋げる。また、昨年度に引き続き、創業セミナーの開催や補助制度の活用により、若者・女性の創業支援を積極的に行っていくとともに、セミナーに参加された人にもご意見を伺いながら創業にチャレンジできる環境づくりについて検討していく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 商工会議所と連携することで、創業者のニーズに応じた専門的かつ総合的な相談対応ができる。また、創業セミナーや空き店舗等活用支援事業補助制度、創業資金利子補給制度など、様々なメニューによりまちのプレイヤーとなる人材育成と創業支援をすることで、商業の活性化及びにぎわいの創出が期待できる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	産業環境部 商工観光課 商工業振興グループリーダー 原 千里
【最終評価者】	産業環境部 商工観光課長 井上 和哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	A	A
	成果	A	B	B	A	A

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		5,135 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	5,135 千円
	令和4年度への繰越額	千円